



## バラ焼きによるまちおこし活動を広げよう サポータークラブ発足

3月15日、十和田バラ焼きによるまちおこしサポータークラブ設立総会が十和田商工会館で行われました。これは、十和田バラ焼きによるまちおこし活動を地域全体に広めようと十枝内 亘 発起人代表らにより発足したもので、市民ら約150人が参加しました。サポータークラブへの入会資格は、この地域を良くしたいという思いだけのことです。登録料、年会費はなし。問い合わせは、弁護士法人十枝内総合法律事務所 ☎ 4005



市内外からたくさんのかたが総会に集まりました

## 洗練された演舞に拍手喝采 十和田市素人防犯演芸大会

3月2日、市民文化センターで「第52回十和田市素人防犯演芸大会」が開催されました。この大会は、防犯思想の普及、啓蒙を図り、市民相互の連携を深め、青少年の健全育成に努めることを目的に市防犯協会（高谷隆一 会長）が主催しました。演芸大会は、「新舞踊の部」、「歌謡・民謡の部」など6部門が行われ、約60人が参加。演舞者は、日頃の練習の成果を発揮し、観客の目を楽しませていました。



「子どもの部」で「みちのく旅鴉（たびがらす）」を踊った沢口ゆづきくん。力強い演舞を披露しました

## 市消防団に最高の栄誉 特別表彰「まとい」を受章

このたび、市消防団（中沢豊美 団長）が日本消防協会の特別表彰「まとい」を受章しました。この特別表彰は、全国約2,200の消防団から毎年10団体に贈られ、全国の消防団にとっては最高の栄誉です。市消防団は県消防操法大会で6度優勝、全国大会へも3度出場するなど優秀な成績を取ったほか、日頃の活動が高く評価されました。今後「まとい」は、市役所本館1階に展示されます。



「まとい」を囲む小山田市長（左から3人目）と中沢団長（右から3人目）ほか副団長のみなさん

## 地域防災力強化のために 消防団屯所の車両を更新

市では、市消防団の機能強化を図るため、各屯所の車両更新を行っています。今年度は、老朽化のため、市消防団第5分団第2部小山屯所に小型動力ポンプ積載車1台および小型動力ポンプ1台、第6分団第7部館屯所に小型動力ポンプ積載車1台を導入しました。3月2日、十和田地域広域事務組合消防本部において引き渡し式が行われ、小山田市長から中沢豊美消防団長へ車両が引き渡されました。



市では、地域防災力強化のため、今後も消防団車両の更新を行います

## 放射性物質による汚染傷病者を想定 緊急被ばく医療合同訓練

2月19日、市立中央病院で日本原燃(株)らによる「緊急被ばく医療合同訓練」が初めて実施されました。訓練は、原子力サイクル施設で放射性物質による汚染を伴う傷病者が発生したという想定のもと、通報連絡、傷病者の引き渡し、医療処置や除染などについて行われました。医療スタッフからは普段の受け入れとは違う症状の傷病者に対し、日本原燃(株)担当者に手順を確認しながら、慎重に訓練を行いました。



医療スタッフや治療に使用した機器など放射線量の測定も行われ、通常の治療より多くの時間がかかります

## あまちゃんの作曲家・大友良英さん 市現代美術館でトーク&ライブ

2月16日、市現代美術館で音楽家・大友良英さんのトークショーとライブイベントが開催されました。大友さんは、自身の生い立ちを振り返りながら、音楽との出会い、影響を受けたアーティストなどをユーモアたっぷりに話した他、東日本大震災を受けて他のアーティストらと立ち上げたプロジェクトで、ライブのときに放射能の影響を考え、会場の敷地に風呂敷を敷いて開催したエピソードなどを話しました。



ライブではギター演奏を披露。訪れたかたはじっと聞き入っていました

## Pick up

## 「3.11」あの日への気持ちを新たに 東日本大震災追悼イベント「Pray for the EARTH 2014」

3月9日、馬事公苑駒っこランドの交流館で、東日本大震災追悼イベント「Pray for the EARTH 2014」が開催されました。このイベントは、震災の影響で福島県浪江町から本市に避難している矢澤アイサさんら避難者と市民有志が一緒に実施し、震災を忘れないでほしいと毎年開催しており、今回が3回目となります。「Happy!!」をテーマに行われた今回のイベントでは、グッズの販売や手作りせっけんなどのワークショップが行われたほか、矢澤さんの音楽仲間ら9団体によるライブが行われ、会場を盛り上げていました。また、地震発生時刻の午後2時46分には、震災で犠牲になったかたの冥福を祈り、全員で1分間の黙とうを行いました。イベントに参加した小原千佳さん（十和田西高・2年）からは「東日本大震災は忘れることができません。こういうイベントでみんながつながっていくことは大切だと思います。これからも続けてほしいです」と、話しました。今回のイベントで集まった募金などは、福島県の子どもたちに十和田市の野菜を届ける費用などに使われます。



- 1 会場を訪れていたかたも一緒になって、歌いました
- 2 午後2時46分には1分間の黙とうを行いました
- 3 手作りグッズの販売も好評